

違いを超えて考えよう

Think Beyond Differences

多文化共修ガイドブック

Multicultural Collaborative Learning Guidebook



長岡技術科学大学 大学戦略課 国際・高専連携戦略室
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
E-mail : project-x3@jcom.nagaokaut.ac.jp

Nagaoka University of Technology

Office of International and KOSEN Cooperation Strategies,
Division of Institutional Strategies,
Nagaoka University of Technology

1603-1 Kamitomioka, Nagaoka, Niigata, 940-2188, Japan
E-mail : project-x3@jcom.nagaokaut.ac.jp

<https://www.nagaokaut.ac.jp>

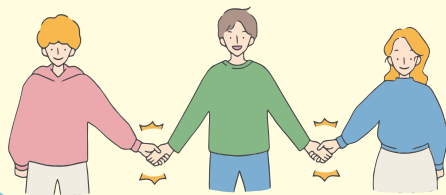


「多文化共修」って？

友だちや家族と意見が合わなくてモヤッとした経験、ない？
相手が言葉や文化が違う人たちだったら——あなたの戸惑いはもっと大きいはず。
社会に出ると、国籍・価値観・世代が異なる人たちと働きます。
「多文化共修」は、留学生や分野などが異なる仲間との
ディスカッションやグループワークを通して、
「違う考えを持つ人とどう向き合って意見をまとめていくか」を実践的に学びます。
いよいよ令和8（2026）年度から本格的にスタートします。
コミュニケーション能力を磨き、世界を広げるチャンス！
「多文化共修」で明日への一歩を踏み出そう！！

国の違い？関係ない！

「海外に行ったことがないから...」
「英語が苦手だから...」って
自分にブレーキかけてない？
国や文化が違ってても心配しなくて大丈夫。
いろんな文化の人と一緒に学べば、
「どうにかする力」がきっと身につく。

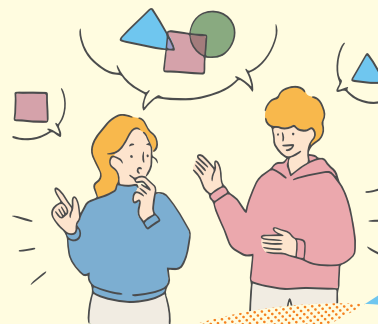


どうして 「技学×多文化共修」 なのか？

「技学」は、ものづくりや技術を
もっと良くするために、実際にやってみること、
そこから学んだことを組み合わせる学問。
さらに「多文化共修」でコミュニケーション能力を身につけたら??
それって、世界で活躍できる最強の技術者じゃない？
これは長岡技術科学大学だからこそ、できること。
だから、「技学×多文化共修」。

考え方が違うって おもしろい！

世代も、ジェンダーも、趣味も、出身地も、経験も。
違うからこそ、新しい世界に触れられて、自分の視野が一気に広がる。
それが新しいアイデアが生まれるきっかけ。
意見の「ぶつけ合い」は「理解」につながり、
「信頼」が生まれるプロセス。



自信をもって社会へ

卒業後、みんなが自分の道へ進んでいく。
新しい居場所には、ドキドキする出会いがいっぱい。
年齢も価値観も違う人たちと関わることになるけれど、
「多文化共修」での経験が、きっとあなたの味方になる。



CONTENTS

- 01 「多文化共修」って？
- 03 「多文化共修科目」一覧
- 05 新設科目紹介
- 07 卒業生インタビュー
- 08 先生方からのメッセージ

Subjects

令和8(2026)年度「多文化共修科目」一覧

あなたにぴったりの学びがきっと、ある!

「多文化共修科目」には、グローバルな視点や仲間との協働力を育む授業など、いろいろな授業があります。どんな科目があるのか、それぞれの授業でどんな力が身につくのかをご紹介します。

Q 「多文化共修科目」には、
どんな科目があるの？

A 令和8年度は右の表のとおり、全部で18科目(学部10科目、修士3科目、博士5科目)です。来年度以降も科目数は増えていく予定です。

Q どの科目をとったらいいの？

A それぞれの科目には特徴があります。表の「主に身につく力」を参考に、自分に足りない要素、強みにしたい要素を考えながら、選択してみるといいですよ。

身につく力

【多様な価値観の理解・対応力】

自分と異なる意見や考え方を受け入れ、コミュニケーションを通してお互いの合意点を探ることができる。

【思考力・意思決定力・発信力】

データなどの情報をもとに自分なりの考えをまとめ、それを相手にわかりやすく伝えることができる。

【グローバル思考】

自分の常識・価値観にとらわれず、世界的な視点から物事をとらえることができる。

【チームワーク・協働力】

仲間と協力して課題に取り組み、最後まで一緒にやり遂げることができる。

【専門知識を活用した実践力】

身につけた知識を活かして実際にものづくりを行い、社会課題の解決に役立てることができる。

【主体性】

物事を「自分ごと」としてとらえ、みずから積極的に行動することができる。

主に身につく力						科目名	対象	区分	分野
多様な価値観の理解・対応力	思考力・意思決定力・発信力	グローバル思考	チームワーク・協働力	専門知識を活用した実践力	主体性				
				○	○	安全工学基礎	学部	専門	機械工学
	○	○	○	○	○	機械工学実験1			
	○			○	○	機械工学設計演習			
	○			○	○	環境社会基盤工学実験2			
○	○	○	○		○	グローバルコミュニケーション		教養	(各分野共通)
○	○		○	○	○	エンジニアリング・デザイン			
○	○	○			○	地域産業と国際化			
○		○	○	○	○	持続可能な未来を築く労働安全衛生実践			
○	○	○	○		○	持続可能な未来に向けた地域課題解決実践			
○	○	○	○			技術者倫理共修*			
○	○	○		○		核燃料サイクル工学	修士	専門	量子・原子力統合工学
○	○	○			○	海外地域課題解決特論**		共通	(各分野共通)
○			○	○	○	ベンチャー起業実践1			
○	○			○	○	技術科学イノベーション特論	博士		技術科学イノベーション
○	○		○		○	技術科学ファシリテーション ※隔年開講のためR8は開講なし			
○	○	○	○	○	○	ルートテクノロジー特論			
	○		○		○	アントレプレナー特論 ※隔年開講のためR8は開講なし			
○		○	○		○	Creative Leadership			

*:学部生必修科目 ** :SDGプロフェッショナルコース生必修科目

New Subjects

新設科目紹介

新しい科目を紹介します!

多様性を力に変える 新規科目が誕生!



大場 恭子 先生

■ なぜ技術者倫理を「多文化共修」で学ぶのか

近年、技術者が関わる不祥事やトラブルの背景には、個人のミスだけでなく、組織文化や技術者を取り巻く環境の影響があると指摘されています。中でも、コミュニケーション不足が原因となるケースが増えています。

そのため、専門知識だけでは社会に求められる技術者とは言えません。相手の考えを理解し、自分の意見を伝え、違いを調整しながらより良い結論を導く力が重要です。技術者倫理に「多文化共修」を組み合わせることで、協働的に問題解決力を養う学びの場となります。

技術者倫理共修

学部3年生(教養科目・必修)

「技術者倫理」は「技術者倫理共修」として、大幅に改編されます。

本学では、専門的な知識や技術力に加え、高い倫理観を備えた技術者の育成を目的に、3年生の必修科目として「技術者倫理」を開講してきました。そこに、本学の特色である留学生の多さを生かし、新たな学びとして生まれたのが「技術者倫理共修」です。

本授業は、時代に即した価値判断と行動力を養う「技術者倫理」と、多様な背景を持つ仲間と学ぶ「多文化共修」を組み合わせ、長岡技術科学大学ならではの科目です。知識の習得にとどまらず、「自分ならどう行動するか」をテーマに、学生同士のディスカッションを重視しています。日本人学生と留学生が共に議論することで、多様な考え方に触れながら自らの判断軸を育て、将来技術者として社会に出るための力を身につけていきます。



■ この授業が目指すこと

この授業を通してみなさんに目指してほしいのは、「自分のなりたい技術者像」を言葉で伝えられるようになること。そして、仲間と協力しながら課題を解決し、社会に貢献できる技術者として成長していくこと。

専門知識だけでなく、仲間と話し合い、一緒にひとつの答えをつくり出す力を持つ技術者がこれからの時代に求められています。新しくなる「技術者倫理共修」は、その第一歩となる科目です。

持続可能な未来を築く労働安全衛生実践

学部3年生(教養科目・選択)

労働安全衛生って、世界共通?

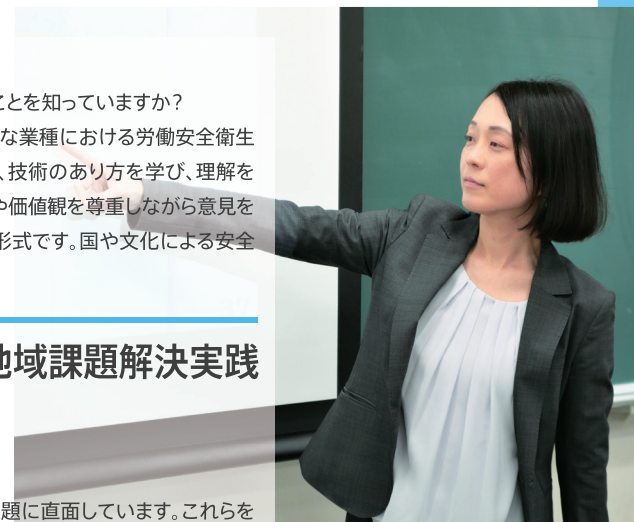
「労働安全衛生」。実は、世界共通の概念があることを知っていますか? 本授業では、持続可能な未来を見据え、さまざまな業種における労働安全衛生について、社会から求められる安全意識や制度、技術のあり方を学び、理解を深めます。さらに国際規格を通して、多様な文化や価値観を尊重しながら意見をまとめる経験をします。授業は日英ハイブリッド形式です。国や文化による安全意識や制度の違いを一緒に学びましょう。

持続可能な未来に向けた地域課題解決実践

学部4年生(教養科目・選択)

未来を拓く実践的技術者へ!

私たちが生きる現代社会は、多くの環境・社会課題に直面しています。これらを解決するには、異なる立場や背景をもつ人々が対話し、協力する姿勢が欠かせません。国内外の地域社会の課題を題材に学ぶことで、多様な考え方に触れる貴重な機会が得られます。授業は英語を中心に、日本語も併用します。本授業を通して、持続可能な未来に向けて必要な協働力や実践力、発信力を身につけてみませんか?



勝身 麻美 先生

海外地域課題解決特論

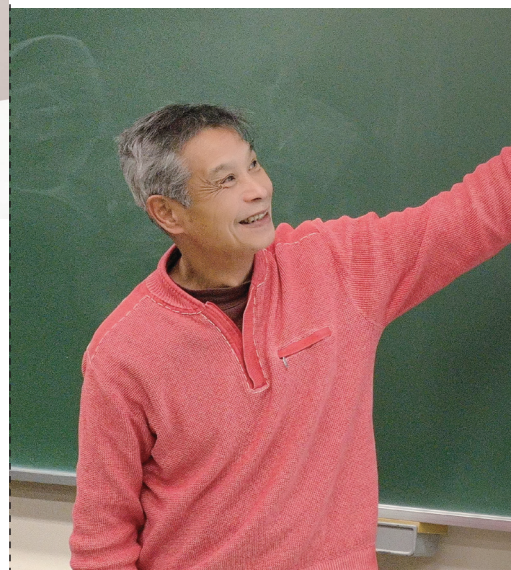
修士課程(共通科目・選択)

※ただし、SDGプロフェッショナルコースは必修

世界の課題を英語で探求

この授業では、留学生と日本人学生が共にSDGsや世界的課題を学び、データをもとにその背景や要因を比較・分析しながら解決策を考えます。授業はすべて英語で行われ、前半はグループディスカッションを通して技術的・社会的課題への提案を行います。後半では身近な課題を選び、プレゼンテーションを実施します。多様な文化や背景をもつ仲間と地球規模の課題を学び合い、視野を広げる授業です。

滝本 浩一 先生



Interview

卒業生インタビュー Alumnus Interview

グローバル社会で求められるエンジニアの資質とは？



YKK VIETNAM CO., LTD
Production Manager

川口 孝則さん

平成17年度 修士課程修了
(創造設計工学専攻)

Takanori Kawaguchi

Master's Program of Mechanical Design
and Production Engineering
FY2005

01 現在のお仕事について教えてください。

YKKベトナムのプロダクションマネージャーとして、スライダー製造部の部門長と品質管理マネージャーを兼任しています。ベトナムでの勤務は2回目で、合計で約11年になります。



02 異文化の環境でのお仕事で特に苦労したことは？

日本人だと「このぐらい察してよ」という常識が、海外では通用しないことを痛感しました。理解してもらったと思っていても伝わってなかったことが多く、最初はイライラすることもありました。

03 対応や考え方をどのように変えたのですか？

丁寧に説明すること、明確に伝えることの重要性を学びました。また、言葉だけでなく、フロー図などを用いて工夫しながら伝えていきます。意見が対立したときは、相手の背景を必ず確認します。その上で、ゴールを達

成するために、原理原則に基づき体系的にまとめるように心がけています。自分と異なる考え、価値観を否定するのではなく、相手を知ろうとすること、リスベクトすることが大切だと思います。

04 これからのエンジニアに求められる資質は？

最低限の語学力、特に英語はスタートラインに立つために必要不可欠です。それから、伝える力やコミュニケーション力、チームで働く力やリーダーシップ力が基本です。

加えて、創造力・応用力、時間管理能力、常に世界に目を向ける視野の広さ、判断力・決断力が求められます。

05 後輩へのメッセージをお願いします。

すでに海外の方と仕事をすることが当たり前になっていますが、今後はさらに加速していきます。学生の時から様々な人種・文化の方と交流し、自身の人間力と人脈を広げる経験をたくさんしてほしいです。

What qualities are required of engineers in a global society?

01 Tell us about your job now.

I work as a Production Manager at YKK VIETNAM, serving concurrently as the Head of the Slider Manufacturing Department and the Quality Control Manager. This is my second assignment in Vietnam, and I have spent a total of approximately 11 years working here.

02 What was the hardest part about working somewhere with a different culture?

Although there is a lot of "reading between the lines" among Japanese natives, I have definitely struggled with how that is not the case overseas. Often, I think I have communicated something to someone, but they actually did not understand me. Initially, I found this very frustrating.

03 How did you change your approach or way of handling such issues?

I learned the importance of explaining things clearly and thoroughly. I also don't just rely on words alone. I will use flow charts and other techniques to convey my message better. When opinions differ, I always look into and think about the context on the other party's side. Then, in the interest of achieving our goal, I strive to keep everything systematically organized based on core principles. I believe it is important to attempt to learn more about the other party and respect their differing thoughts and values, rather than reject their viewpoint.

04 What personal qualities are needed in engineers?

It is absolutely essential to have some basic foreign language skills, especially

English, to even stand at the start line. Other important basic skills are communication skills, the ability to express yourself, teamwork skills, and leadership. In addition, engineers need creativity, adaptability, time management skills, a broad perspective always oriented toward the world as a whole, and appropriate judgment and decision-making skills.

05 Do you have any message for current and prospective students?

It is already commonplace to work alongside people from different countries, but it will become even more common in the future. Start now as a student: interact with people of a diversity of races and cultures, and build your own interpersonal skills, connections, and experience.

Messages

先生方からのメッセージ Messages from Professors



鈴木 達也 先生
量子原子力系

Professor Tatsuya Suzuki
Nuclear Technology

留学生と共に社会課題を議論することで、多角的な視点を身につけてください。本学のモットーであるVOS (Vitality, Originality, Services) の精神に沿った「多文化共修科目」は、社会に貢献したいあなたにこそ学んでほしい科目です！

Discuss social issues with international students to develop a multifaceted perspective on things. The Multicultural Collaborative Learning Classes are built on the university's VOS philosophy (Vitality, Originality, Services), and you should definitely take these classes if you want to contribute to society!

長岡にいながら留学生と共に学び、科学技術で地域や世界の課題に挑みましょう。大切なのは目の前の課題だけでなく、これから起こる課題にも目を向け、未来を創る力を身につけること。言葉の壁を越えて、グローバルな学びに挑戦を！

While you're at Nagaoka, learn alongside the international students and tackle issues in your local community and around the world with science of technology. What's most important is to look beyond just the issues of the present to foresee the issues down the road as well, and to develop the skills to build the future. Overcome language barriers and challenge yourself with a global education!

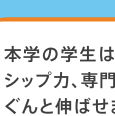


湯川 高志 先生
情報・経営システム系

Professor Takashi Yukawa
Information
and Management Systems Engineering

技術者として活躍するには、世界との交流が不可欠です。多様な文化や考え方を理解し、違いを認めないと仕事を進めていくことができません。そのためにも「多文化共修科目」は履修すべき科目です。迷わず、学んでみてください。

In order to thrive as an engineer, you must interact with people from around the world. You cannot move forward unless you have an understanding of a diversity of cultures and ways of thinking, and you accept those differences. That is another good reason to take Multicultural Collaborative Learning Classes. Don't hesitate! Take one.



山口 隆司 先生
技術科学イノベーション系

Professor Takashi Yamaguchi
Science of Technology Innovation

本学の学生はリーダーになることが期待されています。リーダーに必要なリーダーシップ力、専門知識、コミュニケーション力—これらは仲間と共に学び合うことでぐんと伸ばせます。「多文化共修科目」で未来のリーダーへ！

Our students at the university are expected to become leaders. The leadership, specialized knowledge, and communication skills needed by leaders can be rapidly developed just by learning together with your fellow students. Become a leader of tomorrow with Multicultural Collaborative Learning Classes!



リー飯塚 尚子 先生
基盤共通教育系

Professor Naoko Lee Iizuka
General Education

「多文化共修科目」は、自分を知り、世界を広げる第一歩。あなたのまわりにももっともっと広い世界が広がっています。この大学で、専門知識にプラスして、多様性を受け入れ、理解する力という新たな「武器」を手に入れましょう。

Multicultural Collaborative Learning Classes are a first step to learning about yourself and expanding your horizons. There is such a big, big world out there for you to discover. At the university, in addition to specialized knowledge, develop a strong new "tool" by learning how to welcome and understand diversity.

学生のうちに多様な人と交流できるのが「多文化共修科目」の魅力。海外留学をしているかのように文化や考え方の違いを学びながら、自分を成長させることができます。言葉に不安があっても大丈夫。大切なのは、挑戦する気持ちです！

The appeal of the Multicultural Collaborative Learning Classes is that you are able to interact with a wide range of people while still being a student. You are able to learn about other cultures and ways of thinking, almost as though you are studying abroad, while also growing as a person. Don't worry if you are nervous about the language barrier! What is important is being willing to challenge yourself!



宮下 幸雄 先生
機械系

Professor Yukio Miyashita
Mechanical Engineering



佐々木 徹 先生
技術科学イノベーション系

Professor Toru Sasaki
Science of Technology Innovation



佐々木 徹 先生
技術科学イノベーション系

Professor Toru Sasaki
Science of Technology Innovation

About

What is Multicultural Collaborative Learning?

Have you ever felt frustrated because you disagree with your friends or family about something? Now imagine that person speaks another language or has a different culture—you would likely feel even more confused. Out in the working world, you will work alongside people of a variety of nationalities, value systems, and generations.

"Multicultural Collaborative Learning" is the practice of learning how to interact with people who think differently and how to bring those opinions into harmony through discussion and group work with international students and others from different fields.

This program will fully launch in the 2026 school year.

This is a great chance to improve your communication skills and broaden your horizons!

Take your first step into the world of tomorrow through

Multicultural Collaborative Learning!

Why GIGAKU and Multicultural Collaborative Learning?

GIGAKU is the "science of technologies," a discipline that aims to improve manufacturing and technology by attempting to put things into practice, and then learning from those attempts.

Why not take this opportunity to build your communication skills through Multicultural Collaborative Learning?

Wouldn't that make you a top, world-class engineer?

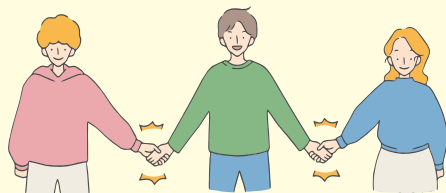
This is a path that's only possible at Nagaoka University of Technology.

That's why we combine GIGAKU

and Multicultural Collaborative Learning.

Different countries? That's OK!

Are you holding yourself back because you think, "Well, I can't speak English," or "I've never been outside Japan"? There's no reason to worry just because someone is from another country or culture. Learning together with people from different cultures will help you learn how to "deal with it" and ensure everything works out.



It's interesting to think about things differently!

Different ages, genders, hobbies, origins, or experiences—precisely because of these differences, you will be exposed to a brand new world that broadens your horizons.

Those new perspectives may lead you to new ideas. A lively exchange of perspectives is a process that will lead to better understanding and trust.



Build confidence before heading into the world

After you graduate, everyone will set out on their own path. Wherever you go to live, you will make lots of exciting new connections there.

You will meet people of different ages and value systems, and that's when your experiences with Multicultural Collaborative Learning will come in handy.



CONTENTS

09 What is Multicultural Collaborative Learning?

11 Multicultural Collaborative Learning Class List

13 Introducing New classes

Subjects

2026 Multicultural Collaborative Learning Class List

Find just the right class for you!

Multicultural Collaborative Learning Classes come in a variety of different types. Some will primarily cultivate a global perspective, and others will build cooperative skills. Let's take a look at the different classes available and what skills each class will teach.

Q What are Multicultural Collaborative Learning Classes?

A The 18 classes (10 undergraduate, 3 Master's, and 5 Ph.D. classes) offered in the 2026 school year are shown in the table to the right. We also plan to increase the number of classes next year and beyond.

Q What classes should I take?

A Each of the classes is a bit different. Look at the skills each will teach and select one that builds up skills you currently lack or want to strengthen in yourself.

Skills

Understanding and handling diverse value systems

Learn to accept opinions and perspectives that differ from your own and how to look for points of mutual agreement through communication.

Thinking, decision-making, and self-expression

Learn to organize your own thoughts based on data and other information, as well as how to clearly express your thoughts to others.

Global thinking

Learn to view things from a global perspective, without getting caught up in your own assumptions and values.

Teamwork and cooperation

Learn to work on things together with others and to stick with it to the very end.

Putting specialized knowledge into action

Learn to utilize your knowledge to build something that helps resolve issues facing society.

Independence

Learn to take ownership of issues and proactively take action.

	Primary Skills Learned						Class Title	Eligible Students	Category	Field
	Understanding and handling diverse value systems	Thinking, decision-making, and self-expression	Global thinking	Teamwork and cooperation	Putting specialized knowledge into action	Independence				
					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Fundamentals of Safety Engineering	Under-graduates	Specialized	Mechanical Engineering
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Integrated Exercises for Mechanical Engineering 1				
	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Design Exercises in Mechanical Engineering				
	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Civil and Environmental Engineering Laboratory 2	Civil and Environmental Engineering			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	Global Communication	Under-graduates	General Education	(Common to all fields)
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Engineering Design			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	Local Industry and Globalization			
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Practical Approaches to Building a Sustainable Future Through Occupational Safety and Health			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Local Problem-Solving Practice for a Sustainable Future			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	Collaborative Learning on Engineering Ethics *			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		Nuclear Fuel Cycle Engineering	Master's	Specialized	Nuclear Technology
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		Theory of Solving Regional Issues Overseas **		Common	(Common to all fields)
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Practical Work on Venture Flotation Training 1			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Advanced Science of Technology Innovation Engineering	Ph.D.	/	Science of Technology Innovation
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	Facilitation Engineering on Science and Technology (Not held in 2026 (held biennially))			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Advanced Root Technologies			
		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Advanced Entrepreneurship (Not held in 2026 (held biennially))			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	Creative Leadership			

* :Compulsory class for undergraduates ** :Compulsory class for SDG Professional Course students

New Subjects

Introducing New Classes

Check out these new classes!

New classes that turn diversity into strength!



Associate Professor
Kyoko Oba

■ Why learn engineering ethics in Multicultural Collaborative Learning?

In recent years, some scandals and other major problems involving engineers have been traced back to organizational culture and other aspects of engineers' environment rather than any particular mistake by the engineers themselves. In particular, a lack of communication has often been the root cause of the problem. For that reason, society needs engineers who offer more than just specialized knowledge. What is important is to understand the other party's way of thinking, to express your own opinion, and work out your differences together to lead the conversation to a good conclusion. Combining Multicultural Collaborative Learning with Engineering Ethics results in a class that will develop students' collaborative problem-solving skills.

Collaborative Learning on Engineering Ethics

3rd-year undergraduate
(General Education, Compulsory)

Engineering Ethics has been completely reworked into Collaborative Learning on Engineering Ethics.

Engineering Ethics is a 3rd-year compulsory class that aims to cultivate engineers who are not only equipped with specialized knowledge and engineering capability, but also a strong sense of ethics. This version of that class draws on our large number of international students to create something new: Collaborative Learning on Engineering Ethics.

This is a type of class unique to Nagaoka University of Technology, combining Engineering Ethics, which develops students' ability to make value judgments and take action as appropriate for the modern era, with Multicultural Collaborative Learning by incorporating participants of diverse backgrounds. The focus of this class goes beyond just acquiring knowledge, including discussions among students focused on themes such as what you would do if placed in various situations. Through discussion, Japanese and international students are exposed to a variety of perspectives and develop their own decision-making axis, which will be of use when they head out into the world as engineers in the future.



■ Goals

Through this class, we hope that students develop the ability to express "what kind of engineer they want to be" in their own words. We also aim for students to be able to work with others to resolve problems, growing into engineers who can contribute something valuable to society. The engineers needed by tomorrow's world offer more than just specialized knowledge; they are also able to discuss problems with others so that everyone can arrive at a single answer together. The new Collaborative Learning on Engineering Ethics class is one step in that direction.

Practical Approaches to Building a Sustainable Future Through Occupational Safety and Health

3rd-year undergraduate (General Education, Elective)

Are occupational safety and health the same worldwide?

"Occupational Safety and Health." Did you know there are related concepts that are held in common all over the world?

In this class, we investigate occupational safety and health in a variety of occupations to deepen our understanding of the safety awareness and systems needed by society, as well as to learn technology and engineering's proper role in pursuit of a sustainable future. We also formulate our own opinions while paying respect to diverse cultures and values, in line with international standards. This is a hybrid class taught in both English and Japanese. Let's learn the cultural and national differences in safety awareness and systems together.



Specially Appointed Lecturer
Mami Katsumi

Local Problem-Solving Practice for a Sustainable Future

4th-year undergraduate (General Education, Elective)

Become a hands-on engineer who will pioneer the future!

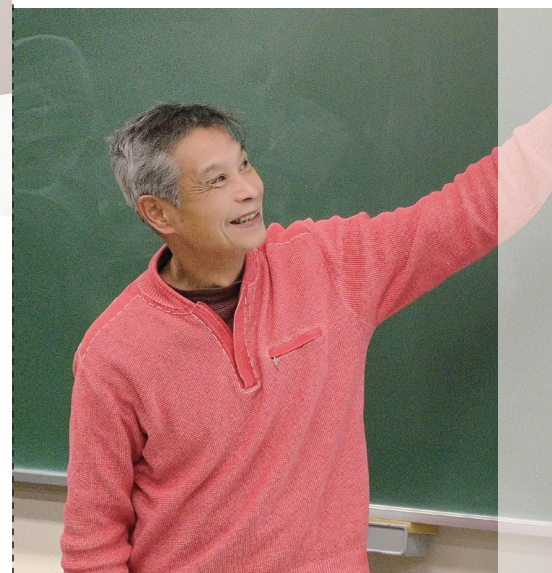
Our modern society faces many environmental and social problems. Resolving these problems will require a diverse range of people with different perspectives and backgrounds to talk with each other and cooperate. This is a rare and valuable opportunity to learn about issues facing local communities in Japan and around the world and to expose yourself to a wider variety of viewpoints. The class is taught primarily in English, with Japanese used jointly. Develop the collaborative skills, practical skills, and communication skills needed for the sustainable future ahead.

Theory of Solving Regional Issues Overseas

Master's (Common, Elective)
(Compulsory class for SDG Professional Course students)

Pursue global issues in English

In this class, Japanese and international students learn about the SDGs and global issues together, using data to compare and analyze background context and causes while thinking of solutions. Classes are conducted entirely in English, and in the first half we will have group discussions that will produce suggestions for solutions to technological and social issues. In the latter half, students will select an issue close to them and conduct a presentation on it. Expand your horizons by learning about global-scale issues together with classmates from a variety of cultures and backgrounds.



Dr.
Koichi Takimoto